1月18日（月）、浜郷小学校にて

6年生が『避難所運営ゲーム』を体験しました。

１月１８日（月）、浜郷小学校体育館にて、『防災講座』が開催され、６年生６２名が「避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）」を体験しました。当日は、まちづくり協議会の役員及び市内まちづくり協議会の方々１５名、伊勢市社会福祉協議会、伊勢市市民交流課、伊勢市危機管理課の方々が、体験の様子を視察に訪れました。また、名古屋TV（メ～テレ）、ＩＴＶ、中日新聞社、毎日新聞社の方々が取材に来ていただき、ＴＶ・新聞にて紹介されました。

「避難所運営ゲーム（ＨＵＧ）」は静岡県で作成され、全国各地で防災の学習に使用されているものですが、今回の物は、昨年、森本アドバイザー・浜郷小学校の先生方・浜郷地区まちづくり協議会が、共同で小学生向きに手作りされたもので、**『浜郷小ハグハグ』**と名付けられました。

最初は戸惑いもありましたが、ゲームが進むにつれ、一生懸命難問解決に取り組んでいました。昨年同様大人と違った発想が見られ、子供たちなりに難問解決に取り組んでいました。市内の他のまちづくりの方も「一生懸命取り組む様子に感心しました。このように、毎年取り組めば、50 人が 100 人、500 人と増え、大きな力となる。頼もしい！」と言う感想が寄せられました。

最後に森本アドバイザーからの講評もあり、「今日の皆さんの取り組みには感心しました。本当に一生懸命取り組んでくれました。浜郷地区は、防災に一生懸命取り組んでいます。今後は皆さん方の力が必要となります。地域一体となって取り組みましょう。」とお褒めの言葉とともに、参加の方々に呼び掛けられました。

今後このような取り組みを広げ、また積み重ねて、いつ起こるか判らない地震に対する対策を進めていきたいと思います。

※以下当日のスナップをご紹介します。

森本アドバイザーの説明

最初はみんな緊張

視察の方々も大勢

病人はどうする？

まずは通路を作って

メーテレのインタビューに緊張